

学術セッション

| No. | セッション名 | No. | セッション名 | No. | セッション名 |
|-----|---------------------------------|-----|--|-----|------------------------------------|
| 1 | 地下水資源、持続可能性、モデリングと観測 | 11 | 地球-人間システム結合モデリング | 21 | 季節内から季節 (S2S) を含む大気陸面相互作用と気候の予測可能性 |
| 2 | 地球の水、エネルギー、炭素循環の研究 | 12 | 都市・沿岸環境における水と気候 | 22 | Km スケールの地域および全球モデリング-進展、機会、課題 |
| 3 | 地域水文気候システム研究 | 13 | 山岳・寒冷地 (雪氷圏) の水循環 | 23 | 人間-気候-水のつながり、水の安全保障、管理、持続可能性 |
| 4 | 新たな技術とテクノロジー：気候改変からAIまで | 14 | データとモデリングによる対流圏と成層圏におけるエネルギーと水循環の理解 | 24 | 現在および将来気候における熱波と干ばつ |
| 5 | 降水の理解と全球降水実験 (GPEX) | 15 | スケール横断的な水、エネルギー、炭素プロセスのモニタリングとモデリング | 25 | 連鎖的・複合的事象への取組み |
| 6 | 対流の組織化：プロセス理解からハイインパクトな気象・雷警報まで | 16 | 大気陸面相互作用のプロセス理解と予測の改善に向けた新しいモニタリング、モデリング、ベンチマーキング | 26 | 極端現象の予測可能性と予測 |
| 7 | 大気境界層と大気陸面相互作用 | 17 | 極端な気候：記録と観測 | 27 | 気候の早期警報と災害リスク管理 |
| 8 | 雲プロセス：雲の発達から力学的相互作用まで | 18 | 宇宙からの水循環観測 | 28 | より小規模な意思決定のための気候情報の作成 |
| 9 | 大気陸面相互作用と蒸発散における地表面温度の活用 | 19 | 水、エネルギー、炭素循環における観測ギャップを埋めるための新しい観測手法 | 29 | 洪水研究の進展、その予測、影響評価、緩和戦略 |
| 10 | モンスーン (インド気象局 150 周年記念特別セッション) | 20 | アジアモンスーン・フィールドキャンペーン (AsiaPEX と AMY-II) のための観測とモデリングの取組み | 30 | 水と気候セッション水に関するオープンセッション |

ステークホルダーセッション

| 日程 | 種別 | セッション名 | 主催者 |
|--------------|----|--|---|
| 1日目 7月8日 | 大 | 気候変動影響予測を活用した洪水リスクの評価、治水対策の展開 | 国土交通省 |
| | 小1 | アジアにおける水循環変化：気候要因から適応へ～気候・災害予測に関する高度な情報を一般市民に伝えるには | 東京大学大気海洋研究所、海洋研究開発機構、京都大学防災研究所、気象業務支援センター |
| | 小2 | 東京都における気候変動を踏まえた風水害に対する取組み | 東京都 |
| 2日目 7月9日 | 大 | 気候変動下における農業生産基盤整備の対応 | 農林水産省 |
| | 小1 | 気候変動を踏まえた水災害リスク評価手法に関する最新の研究と今後の動向 | 北海道大学、北海道河川財団 |
| | 小2 | 気候変動や流域治水に関する実務者の取組み事例の紹介 | 建設コンサルタンツ協会／河川計画専門委員会 |
| 3日目 7月10日 | 大 | 気候レジリエンス-科学的知見に基づく適応策の実践に向けて- | 環境省 |
| | 小1 | 温暖化が先鋭化する気候変動脆弱地域における水・地盤複合災害のリスク評価とその適応 | 土木学会 北海道支部「気候変動脆弱地域における複合地盤災害のリスク評価に関する研究委員会」 |
| | 小2 | 気候変動の緩和策・適応策の社会実装に向けた地方自治体等の取組み | 国土交通省 北海道開発局 |
| 4日目 7月11日 | 大 | SATREPS：開発途上国と共に地球規模課題に挑む国際～気候変動と水に関わる成果と今後の展望～ | 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)、独立行政法人国際協力機構 (JICA) |
| | 小1 | 積雪寒冷地における気候変動が災害・環境に及ぼす影響の把握と適応策に関する寒地土木研究所の取組み | 土木研究所 寒地土木研究所 |
| | 小2 | 北海道大学における水・気候に関する社会課題解決への取組み | 北海道大学 (全学) |